



藍原 章 議員

ICTを活用したフレイル対策の取り組みについて

ICTを活用したフレイル対策の取り組みについて伺う

高年齢者のフレイル対策としてICTを活用し、社会参加の促進など介護予防に取り組みます

問 ICTを活用したフレイル対策と介護予防の取り組みについて伺う。

答 健康福祉部長

高齢者の運動習慣を促すため、「高島あしたの体操」を令和3年度から新たにユーチューブにより動画配信し、自宅で気軽に体操に取り組めるようになっています。また、「シニアのためのスマホ講座」を実施し、社会参加を促しています。

問 市のラインアプリを活用して「社会参加習慣」、「運動習慣」、「良い食習慣」を促す情報発信をしていますがどうか。

答 健康福祉部長

市のラインアプリ登録者も増加しており、プッシュ式での情報提供も可能なことから、フレイル予防の取り組みの一つと考えています。

問 フレイル啓発活動を行うフレイルサポーター等の育成を行うとはどうか。

答 健康福祉部長

身近な地域で介護予防に取り組むリーダーの育成のため「健康づくりサポーター養成講座」を開催し、37人の方に受講いただきました。また、令和4年度には、「フレイルサポーター養成講座」を開催しました。講座

ではフレイルチェックシートの活用など、地域において実践可能な内容としており、延べ58人の方に受講いただきました。今後、計画的に養成講座を開催し、人材育成に努めます。

問 高齢者への定期的なICT機器の使い方講習を実施してはどうか。

答 健康福祉部長

高齢者がICTを学べる機会として「シニアのためのスマホ講座」および「はじめてのスマートフォン体験型講習会」は、重要な施策と位置づけています。市としては、ICTの活用による高齢者の社会参加が介護

予防に役立つことから、今後も内容等を工夫しながら講座を開催します。また、講座をきっかけに地域のサロン等で高齢者同士がお互いに使い方を相談し、学び合うことにより、高齢者が生きがいや、やりがいを見出しながら生活されることを目指します。

※ICT

(Information and Communication Technology)

情報通信技術と訳され、新しい技術だけでなく、ネットワークを活用したメールやSNSなどのやりとりによる情報・知識の共有やコミュニケーションも含まれる

※フレイル

加齢とともに体力や気力、認知機能などの心身の活力や機能が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の間の虚弱な状態

その他の質問

視覚障がい者や高齢者など、誰にでもやさしい情報のユニバーサルデザインについて